

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付の適正化
-------------	-----------------

現状と課題

在宅サービスの受給者1人あたり給付月額について、全国及び県平均と比較して、利用が低い傾向にある。しかし、短期入所生活介護は、県平均と比較して低いが、全国平均からすると、多くなっている。

在宅サービスより、施設サービスの偏重がある。介護給付が適切なものであるかの検証を行いながら、施設・居住系サービスを利用しているものを在宅サービスにつなげていくことが必要と思われる。

第8期における具体的な取組

- 適正化事業の推進
- ① 要介護認定の適正化 ② ケアプラン点検 ③ 住宅改修等の点検 ④ 縦覧点検・医療情報との突合 ⑤ 介護給付費通知の5事業に取り組む。

目標（事業内容、指標等）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
① 要介護認定の適正化	全件	全件	全件
② ケアプラン点検	400件	400件	400件
③ 住宅改修等の点検	全件	全件	全件
④ 医療情報との突合・縦覧点検	12回	12回	12回
⑤ 介護給付の適正化	利用者全員	利用者全員	利用者全員

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

年間における実施回数をカウントする。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和 3 年度
----	---------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
<p>① 要介護認定の適正化 認定調査の結果について、職員が点検を行い適正な認定審査会を実施した。 全件</p> <p>② ケアプラン点検 ケアプランの記載内容を提出してもらい、職員及び委託事業者が点検を行った。 419 件</p> <p>③ 住宅改修等の点検 施工前に工事見積書、図面の点検を行い、施行後は、竣工写真を確認点検した。 全件 ※施工前点検は、福祉住環境コーディネーター2 級資格取得者による確認を行った。</p> <p>④ 医療情報との突合・縦覧点検 国保連合会への委託により行った。</p> <p>⑤ 介護給付の適正化 介護給付費通知書を令和 4 年 3 月に利用者へ送付した。 利用者全員</p>
自己評価結果
評価【○】
課題と対応策
<p>・医療情報との突合・縦覧点検について、国保連合会へ委託しているが、送付される抽出情報の点検は行っているものの、事業者等への直接の実態把握に割く余裕がない状況である。今後は、職員のスキル向上を図り、できるところから対応していく。</p>